



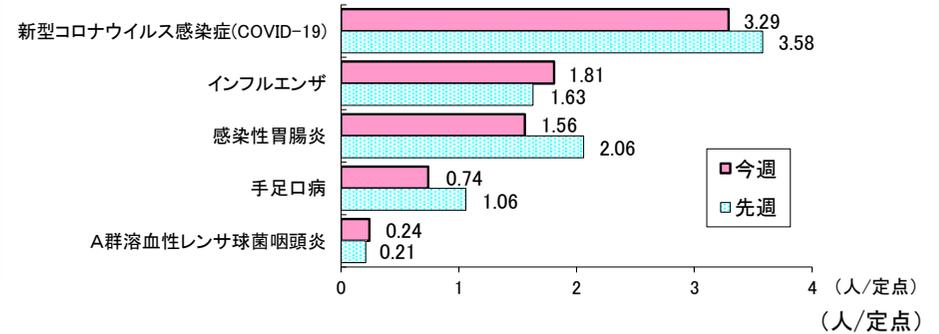
2023年第41週(10月9日～10月15日)

【第41週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

1. 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、県全体で8%減少しています。保健所別では、秋田市、北秋田、由利本荘で増加、秋田中央で同規模、大館、能代、大仙、横手、湯沢で減少しています。
2. インフルエンザは、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、能代、由利本荘で増加、大館で同規模、秋田中央、大仙、横手、湯沢で減少しています。
3. 感染性胃腸炎は、県全体で24%減少しています。保健所別では、大館、北秋田、大仙で増加、横手で同規模、秋田市、能代、由利本荘、湯沢で減少しています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患の発生規模



＜定点把握対象疾患(週報)＞

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第40週	第41週	増減	第40週	第41週	増減																								
インフルエンザ	1.63	1.81	↗	2.09	2.82	↗	2.50	2.50		0.67	7.00	↗	1.00	1.25	↗	1.33	0.50	↘	0.50	0.83	↗	1.43	1.29	↘	1.80	0.40	↘	2.75	0.75	↘
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	3.58	3.29	↘	3.64	4.64	↗	3.00	2.83	↘	2.33	3.33	↗	5.75	4.50	↘	2.67	2.67		3.00	3.67	↗	3.14	1.43	↘	2.80	2.40	↘	7.00	3.75	↘
RSウイルス感染症	0.15	0.21	↗		0.14	↗																1.25	1.00	↘		0.67	↗			
咽頭結膜熱	0.06		↘	0.14		↘																					0.33		↘	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.21	0.24	↗	0.29	0.43	↗																0.50	0.75	↗	0.33	0.67	↗	0.67		↘
感染性胃腸炎	2.06	1.56	↘	5.71	3.57	↘	0.75	1.00	↗		0.50	↗	3.33	2.00	↘				1.25	1.00	↘	0.75	1.75	↗	0.33	0.33		2.67	1.67	↘
水痘	0.03	0.12	↗					0.50	↗				0.33	0.67	↗															
手足口病	1.06	0.74	↘	3.00	1.57	↘	0.50		↘		0.50	↗	1.33	1.00	↘							2.25	0.75	↘		1.00	↗		1.33	↗
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.15	0.09	↘	0.29		↘	0.25		↘								0.25	↗	0.25	0.25						0.33	↗	0.33		↘
ヘルパンギーナ	0.24	0.12	↘				0.25	0.25		3.00	1.00	↘										0.25		↘		0.33	↗			
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎		0.14	↗							*	*		*	*		*	*									1.00	↗	*	*	
流行性角結膜炎		0.14	↗		0.33	↗				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) ・表の数値は、定点医療機関から報告された患者報告数を定点医療機関数で除した値(定点あたり患者報告数)を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 ・今週の保健所別患者報告数、定点医療機関数などは2ページに掲載しています。
 ・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



【第41週の保健所別報告数】

<患者報告数>

定点種別	疾患名	秋田県		秋田市		大館		北秋田		能代		秋田中央		由利本荘		大仙		横手		湯沢		
		患者報告数	定点あたり患者報告数																			
インフルエンザ／COVID-19定点	インフルエンザ	94	1.81	31	2.82	15	2.50	21	7.00	5	1.25	3	0.50	5	0.83	9	1.29	2	0.40	3	0.75	
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	171	3.29	51	4.64	17	2.83	10	3.33	18	4.50	16	2.67	22	3.67	10	1.43	12	2.40	15	3.75	
小児科定点	RSウイルス感染症	7	0.21	1	0.14											4	1.00	2	0.67			
	咽頭結膜熱																					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.24	3	0.43											3	0.75	2	0.67			
	感染性胃腸炎	53	1.56	25	3.57	4	1.00	1	0.50	6	2.00			4	1.00	7	1.75	1	0.33	5	1.67	
	水痘	4	0.12			2	0.50			2	0.67											
	手足口病	25	0.74	11	1.57			1	0.50	3	1.00					3	0.75	3	1.00	4	1.33	
	伝染性紅斑																					
	突発性発しん	3	0.09										1	0.25	1	0.25			1	0.33		
	ヘルパンギーナ	4	0.12			1	0.25	2	1.00									1	0.33			
	流行性耳下腺炎																					
川崎病																						
眼科定点	急性出血性結膜炎	1	0.14					*	*	*	*	*	*					1	1.00	*	*	
	流行性角結膜炎	1	0.14	1	0.33			*	*	*	*	*	*							*	*	
基幹定点	細菌性髄膜炎											*	*									
	無菌性髄膜炎											*	*									
	マイコプラズマ肺炎											*	*									
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											*	*									
	感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)											*	*									

* 定点あたり患者報告数(人/定点)は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。

<定点医療機関数>

定点種別	秋田県	秋田市	大館	北秋田	能代	秋田中央	由利本荘	大仙	横手	湯沢
インフルエンザ／COVID-19定点	52	11	6	3	4	6	6	7	5	4
小児科定点	34	7	4	2	3	4	4	4	3	3
眼科定点	7	3	1	0	0	0	1	1	1	0
基幹定点	8	1	1	1	1	0	1	1	1	1



<全数把握対象疾患>

Table with columns: 類型, 疾患名, 1週-40週 (全国, 秋田), 41週 (秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

Table with columns: 類型, 疾患名, 1週-40週 (全国, 秋田), 41週 (秋田). Lists various infectious diseases and their counts.

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が大仙保健所管内から1人、報告されました。
・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が能代保健所管内から1人、報告されました。
・五類感染症のカルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症が能代保健所管内から1人、侵襲性肺炎球菌感染症が横手保健所管内から1人、百日咳が横手保健所管内から7人、報告されました。

<百日咳に注意しよう>

秋田県内では、百日咳が第41週までに29人報告されました(図1)。特に、横手保健所管内からの報告が多くなっており、保育施設等で感染が広がっていると疑われる事例もあります。患者の約8割は10歳未満で、そのうち1人が1歳未満でした(図2)。百日咳は、生後1歳未満の乳児がかかると重症となり、命に関わることもあるため注意が必要です。

■予防

百日咳を含む四種混合ワクチンの接種は、生後2か月から定期接種にて行われています。対象の月齢となったら早めに接種を受けるようにしましょう。ただし、ワクチンの効果は徐々に減弱するため、接種を完了していても百日咳にかかる場合があります。小学生以降の子供や大人では比較的軽症となりますが、周囲に感染を拡げてしまう可能性があります。次のことを徹底し、感染予防に努めましょう。

- ・手洗い、マスクの着用、咳エチケットなどの予防対策を徹底し、咳が長引く場合は、早めに受診しましょう。
・適切な抗菌薬の治療により、服薬開始から5日後には、菌の排出はほぼなくなると考えられています。医師の指示に従い、処方された期間はしっかりと服薬しましょう。

※予防接種の詳細については、お住まいの市町村、かかりつけの医療機関にお問い合わせください。



図1 秋田県における百日咳の患者報告数(2023年第41週現在)

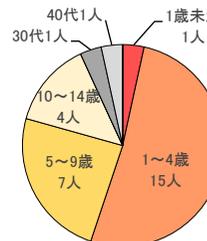


図2 秋田県における百日咳の年代別発生状況(2023年第41週現在)

感染症の集団発生報告

ヒトメタニューモウイルス感染症1件の集団発生報告がありました。

Table with columns: 事例の種類, 管轄保健所, 施設種別, 報告日, 有症者数 (利用者, 職員, 計), 把握期間, 主な症状. Details a case of human metapneumovirus infection at a childcare facility.

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。
※インフルエンザの集団発生報告は4ページに、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生報告は5ページに掲載しています。
※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



2023/2024シーズン（2023年第36週：9月4日～）
インフルエンザ情報

定点あたり患者報告数の推移(インフルエンザサーベイランス)

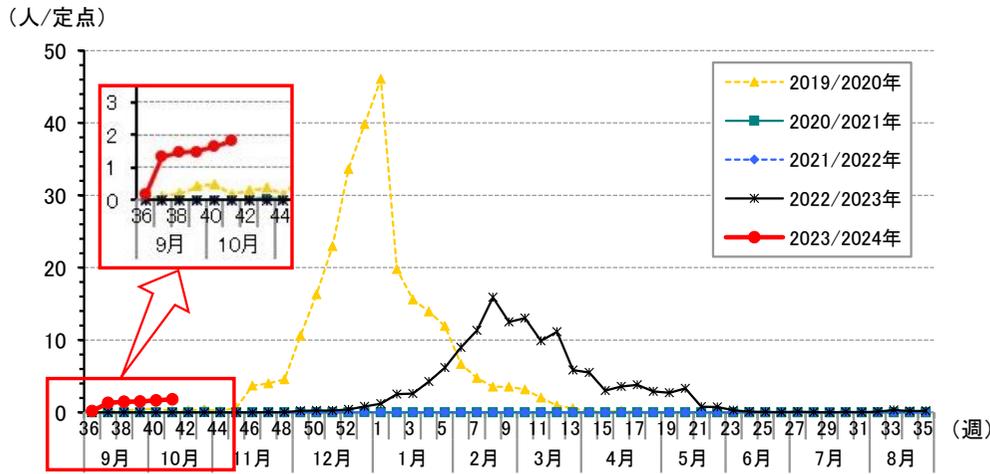


図 秋田県におけるインフルエンザの定点あたり患者報告数

インフルエンザ入院サーベイランス

表 インフルエンザによる入院患者報告数(人)

2023年36週～2023年40週		2023年41週
全国	秋田県	秋田県
1067	8	1

※入院サーベイランスの患者報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。

社会福祉施設等におけるインフルエンザの集団発生状況

No	管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	型
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	大館	教育・保育施設	10/13	78名のうち 9名	30名のうち 2名	11名	10/5～10/13	A

【今シーズンの累計報告数】3施設(教育・保育施設2)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



2023年度 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)情報

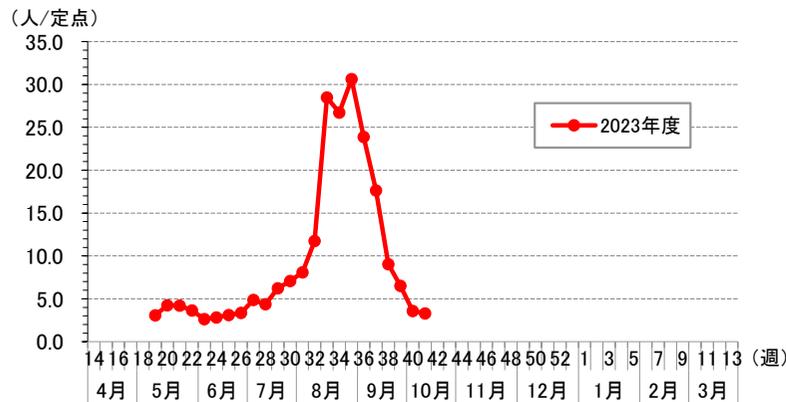


図1 秋田県におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

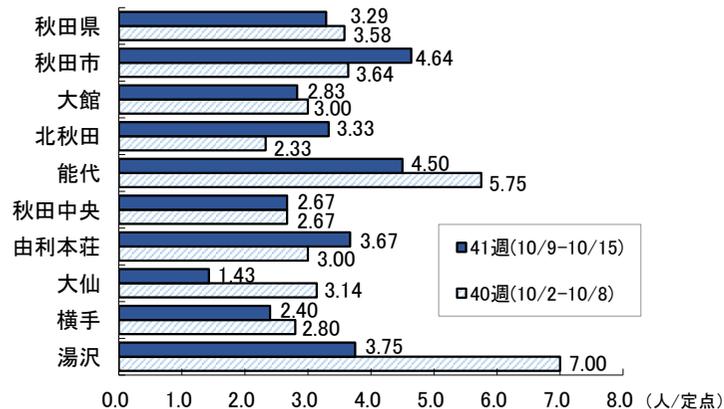


図2 秋田県各保健所におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

- ・定点あたり患者報告数は、1週間のうち(月～日曜日)定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。
- ・保健所別患者報告数、定点医療機関数は2ページに掲載しています。

COVID-19入院サーベイランス

表 COVID-19による入院患者報告数(人)

2023年39週～2023年40週		2023年41週
全国	秋田県	秋田県
3442	35	14

※2023年9月25日(第39週)から基幹定点医療機関におけるCOVID-19の入院サーベイランスが新たに開始となりました。
 ※入院サーベイランスの患者報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。

社会福祉施設等におけるCOVID-19の集団発生状況

No	管轄保健所	施設種別	報告日	感染者数(疑い含む)			把握期間	主な症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	秋田市	医療機関	10/9	61名のうち 9名	85名のうち 2名	11名	10/1～10/9	発熱、咽頭痛、痰
2	由利本荘	高齢者施設	10/9	70名のうち 7名	13名のうち 5名	12名	10/1～10/9	発熱、咳嗽
3	能代	高齢者施設	10/10	18名のうち 8名	15名のうち 3名	11名	10/5～10/10	発熱、鼻汁
4	横手	高齢者施設	10/12	64名のうち 11名	36名のうち 4名	15名	10/7～10/12	発熱、咽頭痛、咳

【2023年度(5月8日～)の累計報告数】195施設(教育・保育施設36、社会福祉施設30、高齢者施設103、医療機関26)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
急性出血性結膜炎	-	横手(1.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		